

六月十七日

8890



関

第一六八

俘虜發第五〇號ノ二

月報提出ノ件報告

昭和十七年六月八日

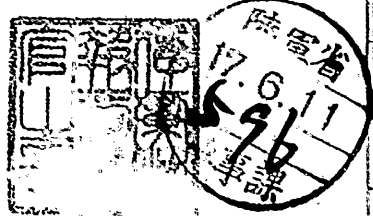
俘虜情報局長官 上村 幹 男

陸軍大臣 東 條 英 機 殿

俘虜情報局月報第四號別冊ノ通提出ス



俘虜情報局



0684

極秘

第四號

俘虜月報

昭和十七年六月五日

俘虜情報局

目次

- 第一 俘虜ニ關スル規定
- 第二 俘虜ニ關スル重要往復文書
- 第三 關係各官廳トノ連絡事項
- 第四 俘虜ノ留置、移動、逃走、入院、死亡等ニ關スル事項
- 第五 俘虜勞役ニ關スル事項
- 第六 俘虜ノ郵便ニ關スル事項
- 第七 俘虜救恤ニ關スル事項
- 第八 常人俘虜（抑留非戦闘員）ニ關スル事項
- 第九 人等ニ關スル事項
- 第十 會計經理ニ關スル事項

俘虜郵便事項

第一 俘虜ニ關スル規定

五月九日陸亞密第一五〇一號ヲ以テ俘虜ノ差出ス俘虜郵便物ノ取扱開始期日ヲ決定左ノ通り通牒セラル(別紙添附)

別紙第一

陸亞密第一五〇一號

俘虜ノ差出ス俘虜郵便物ノ取扱開始期日ニ關スル件通牒

昭和十七年五月九日

陸軍省副官 川原直一

首題ノ件ニ關シ左記ノ通定メラレタルニ付依命通牒ス

左記

區分	開始期日
普通寺俘虜收容所	
上海 俘虜收容所	五月十五日
香港 俘虜收容所	

追テ之カ取扱ニ方リテハ點檢ヲ確實ニシ俘虜收容所ノ能力之ヲ許ス範圍ニ於テ許可スルモノトス

第二 俘虜ニ關スル重要往復文書

「グアテマラ」政府ノ俘虜條約適用ニ關スル件

五月十九日外務省ヨリ條三普通合第八一一號ヲ以テ「グアテマラ」政府ハ俘虜ニ關スル一九二九年ノ條約ヲ適用スト通告シ來リタル旨通報アリ

ニ俘虜處理要領

五月二日大東亞戰爭俘虜處理ニ關スル根本方策左ノ如ク決定セラレ

方針

- (一) 白人俘虜ハ之ヲ我生産擴充並ニ軍事上ノ勞務ニ利用スル如ク逐次朝鮮、臺灣、滿洲、支那等ニ收容シ當分ノ間其ノ用途立タサルモノハ現地ニ於テ速ニ俘虜收容所ヲ開設シ之ニ收容ス
- (二) 白人以外ノ俘虜ニシテ抑留ノ要ナキ者ハ速ニ宣誓解放シタル後成ルヘク現地ニ於テ之ヲ活用ス

要領

- (三) 先ツ本年八月末迄ニ朝鮮、臺灣等ニ昭南島ニ在ル白人俘虜ノ一部ヲ收容ス之カ人員ハ別ニ定ム

臺灣ニ收容スル俘虜ニハ現地ニ於テ必要トスル以外ノ優秀技術者
及上級將校（大佐以上）ヲ含マシム

(四) 殘餘ハ速ニ現地ニ收容所ヲ編成開設シ之ニ收容ス

(五) 俘虜收容所編成ニ方リ之カ警戒取締ノ爲朝鮮人及臺灣人ヲ以テ編
成スル特種部隊ノ充當ヲ豫定ス

又俘虜收容所ハ各軍毎ニ一括編成シ之ヲ各軍ニ於テ適宜分割シ得
ル如ク考慮ス

三 俘虜處理口領第三項ニ基キ五月十一日朝鮮、臺灣ニ收容スヘキ俘虜

數ニ關シ別紙ノ如ク決定セラレ

管理者	朝鮮軍	臺灣軍	備考
配當數	約一、二〇〇	約二四、〇〇〇 「現地ニ置クヲ適當トセサル高級將校及現地ニ於テ必要ナキ優秀技術者ヲ含ム」	本表俘虜ハ何レモ昭南島ニ在ル白人トシ高級將校ハ南方軍作戦地域内ニ置クヲ適當トセサル樞ネ大佐（同待遇文官ヲ含ム）以上ノ俘虜全部トス
摘要	收容施設、給與等ハ軍ノ負擔トス	高級將校及收容所職員ノ施設ヲ除ク以外ハ臺灣總督府等ノ負擔トス	

第三、關係各官廳トノ連絡事項

一 五月十五日午後中央部諸會議ノ爲上京中ノ臺灣軍、朝鮮軍、香港占領地總督部、登集團、善通寺師團各參謀長、支那總軍參謀等ノ參集ヲ求メ俘虜情報局ニ於テ左記事項ニ關シ説明懇談シ且所要ノ書類ヲ交付ス

(一) 説明懇談事項

- 1. 俘虜處理要領
- 2. 俘虜ヲ極力生産擴充ニ使用スル件
- 3. 白人以外ノ俘虜ノ處理
- 4. 俘虜上級將校ノ處理
- 5. 俘虜優秀技術者ノ處理
- 6. 俘虜ノ取締警戒ノタメノ特種部隊編成等ニ關スル件
- 7. 俘虜逃亡ノ場合ノ責任問題等ニ關スル件
- 8. 作戰地域ニハ交戰國ノ利益代表ヲ設置セサル件
- 9. 赤十字國際委員會設置ニ關スル件

(二) 交付書類

- 1. 外国人ノ俘虏收容所出入ニ關スル件
- 2. 俘虏ノ待遇ニ關スル件
- 3. 俘虏業務ニ關スル件
- 4. 俘虏勞務役ニ關スル件
- 5. 優秀技術ヲ有スル俘虏ノ内地等ヘノ輸送要領

第四

俘虏ノ留置、移動、逃走、入院、死亡等ニ關スル事項

善通寺俘虏收容所

一 收容人員

三百八十二名（五月十日調）

(一) 四月十七日米國海軍中尉一、同三等航空無線兵曹一、計二名ヲ收

容ス

(二) 四月三十日米國海軍一等兵曹一名ヲ收容ス

因テ收容人員ハ前號月報ニ比シ三名ヲ増加セリ

二 入院患者 ナシ

治療中ノ患者ハ二十四名（五月十日調）ニシテ前月ニ於ケル二十名

ノ急性胃腸炎ハ目下六名ニ減少セリ。其他急性氣管支炎五名之ニ次

グ

三 死亡者 ナシ

上海俘虜收容所

一 收容人員

千五百五十九名（五月十日調）

前號月報人員ニ異動ナシ

三 入院患者 二名

一名ハ舌癌ノ疑一名ハ肺結核ナリ。其ノ他治療中ノ患者ハ二百十一名ニシテ外被病患者最モ多ク五十四名アリ（四月三十日調）

三 死亡者 ナシ

香港停屍收容所

一 收容人員 一万九百五十名（五月十日調）

四月十日ヨリ五月七日マデ十三名ノ死亡者アリ前號月報ニ比シ十三名ヲ減少セリ

三 入院患者

四百十五名ニシテ内戰傷ニ依ルモノ二百名最モ多ク急性腸炎ノ八十五名之ニ次グ。四月下旬三十三名ノ脚氣患者ヲ生シタルモ生野菜麥等ヲ増給シ又「若素」ヲ服用セシメタルタメ五月下旬其患者數九名ニ減セリ。腸チフス患者四名アリ極力防疫ニ勉メアリ

三 死亡者（病死）

四月 十日	英國陸軍兵	一	四月 十一日	英國陸軍伍長	一
同 二十日	英國陸軍兵	一	同 二十日	印度陸軍兵	一
同 二十一日	印度陸軍兵	一	同 二十二日	加奈陀陸軍曹長	一
同 二十五日	英國陸軍々曹	一	同 二十六日	英國陸軍兵	一
同 三十日	印度人香港義勇防衛隊兵	一	同 三十日	印度人兵	一
五月 五日	印度人陸軍兵	一	同 六日	英國陸軍兵	一
同 七日	英國陸軍兵	一			

計 十三名

第五 停農勞務ニ關スル事項

善通寺停農收容所

一 種類 大麻山開墾

二 人員 二百四十一名ヲ二隊ニ區分シ毎日一隊ヲ勞務ニ服セシメアリ

三 期間及一日ノ時間 二月二十七日ヨリ四月三十日ニ至ル勞務日數ハ

累計四十八日延人員五二八五人ニシテ毎日ノ時間ハ九時ヨリ十六時

ニ至ル

四 右期間ニ於ケル作業ノ成果 開墾面積ハ一町九段十步ナリ

五 食肉取得ノ目的ヲ以テ養兔ヲ計畫シ其飼育箱ヲ製作中ナリ

上海停農收容所

一 種類 道路構築、農園耕作、葺築、山砲藥焚磨等

二 人員 毎日約千九十名ヲ勞務ニ服セシメアリテ勞務ニ出場シ得ヘキ

全員ナリ

三 期間及一日ノ時間 四月一日ヨリ同三十日ニ至ル勞務ノ日數ハ二十

四日ニシテ毎日ノ時間ハ八時ヨリ十六時半ニ至ル

○右期間ニ於ケル作業ノ成果

道路 高サ五十釐幅五米長サ七十米ヲ構築

農園 三千七百坪及クリトヲ埋立六千坪ノ作業完成

建築 兵舎一棟ノ改造完成、醫務室、入浴場、事務室ノ一部改造

山砲藥莖塵 千箇

香港俘虜收容所

四月中旬以後勞役ニ關シ通報ニ接セス

香港ニハ收容所ノ整理保清ニ要スル勞働ノ外勞務無キカ如シ

第六 俘虜ノ郵便ニ關スル事項

一、俘虜郵便ノ陸路遞送左記ノ如シ（遞信省ニテ調査）

東 京 …… ハルビン …… 滿洲 里 …… モスコイ

チフリリス …… エルゼルム …… イスタンブール …… ソファイヤ

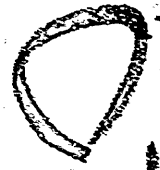
ブタベスト …… ウイラ …… パーゼル …… ゼネヴァ

二、五月十五日外務省主催ノ「俘虜及抑留者ノ郵便物取扱ニ關スル」會議ニ於テ遞送路選擇ニ關シ

俘虜ノ第一回通信（抑留者ノ通信モ含ム）ハ英加兩政府ノ提案ヲ受諾シ「シベリヤ」鐵道ヲ經由スルコトナク南阿「ロレンソ、マルケス」向日本及上海出帆ノ外交官交換船ニ積載シ同地マテ遞送スルコトニ協議セリ

三、善通寺俘虜收容所ハ「俘虜郵便物取扱規定」ニ於テ俘虜ノ發送スル通信ノ致ヲ

6690



一ヶ年

將校

六通

准士官

五通

下士官

四通

兵

三通

以丙子規定ス



第七 俘虜救値ニ關スル事項

俘虜ニ對スル救値狀況左ノ如シ

俘虜救値狀況一覽表

月 日	寄 贈 者	被 救 値 者	品 名	致 量	記 事
一七四二七	日本貿易會	各收容所ニ在ル 俘虜一般	Commerce Japan	六九部	第十六號
四二七	シヤハンタイムズ社	上海、香港、收容所 ニ在ル俘虜一般	Japan Times Weekly	四九部	四月二十三號
一七五一	シヤハンタイムズ社	上海、香港、收容所 ニ在ル俘虜一般	Japan Times & Advertiser	四二〇部	自四月一日起至四月三十日
五七	シヤハンタイムズ社	各收容所ニ在ル 俘虜一般	Japan Times Weekly	四九部	四月三十日號
五二	シヤハンタイムズ社	上海、香港、收容所 ニ在ル俘虜一般	Japan Times Weekly	四九部	五月七日號
五三三	シヤハンタイムズ社	上海、香港、收容所 ニ在ル俘虜一般	A Japanese Scrapbook	二〇〇部	
五一八	シヤハンタイムズ社	上海、香港、收容所 ニ在ル俘虜一般	Japan Times Weekly	四九部	五月十四日號
五二八	シヤハンタイムズ社	上海、香港、收容所 ニ在ル俘虜一般	Japan Times Weekly	四九部	五月二十日號
五三一	シヤハンタイムズ社	上海、香港、收容所 ニ在ル俘虜一般	Japan Times & Advertiser	四三四部	自五月一日起至五月三十日

第八 常人俘虜（抑留非戦闘員）ニ關スル事項

普通寺、香港及上海ニ於ケル俘虜ノ通信ヲ許可セラレタルニ付（陸亞
 密第一五〇一號）香港及上海ニ在ル軍抑留非戦闘員ノ通信モ之ニ準ジ
 許可スベク通牒ヲ發ス（五月十六日俘管發電第八一號ノ二）而シテ右
 ノ第一回ノ通信ハ俘虜ノ通信ト同ジク第一次外交官交換船便ニテ交換
 地點々テ遞送スルロトニ決定セリ（五月十六日俘管發電第五號ノ四同
 第五號ノ五）

第九 人事ニ關スル事項

一 五月二十日

歩兵第六十一聯隊補充隊附

陸軍中佐 保田治雄

補陸軍兵器本部附

陸軍存貯管理部員ヲ命ス

二 五月二十七日

存貯情報局事務官

陸軍中佐 手島寛

陸軍存貯管理部部員ヲ免ス

補第一百十八停車場司令部部員

歩兵第八十九聯隊大隊長

陸軍少佐 山内治

補存貯情報局事務官

陸軍存貯管理部部員ヲ命ス

第十 會計經理ニ關スル事項

四、五月分臨時算費受拂額

圓

三月分殘高	一〇、七九〇、五六〇
四月分受	一〇、〇一〇、〇〇〇
四月分拂	八、三五七、三四〇
四月分殘高	一二、四四三、二二〇
五月分受	五、八五一、〇〇〇
五月分拂	九、〇五九、八一〇
五月分殘高	九、二三四、四一〇